

# フラッグフットボールの2つの価値 ～「教育」と「地域活性」～ Two value of flag football ～ Education and regional revitalization ～

1K06B503

指導教員 主査 太田 章 先生

一木 直人

副査 吉永 武史 先生

## 序論

筆者は中学・高校時代の部活動を振り返り、集団球技において「運動神経が悪い子でも活躍できる」「選手自身が随時内省する機会をもつ」「特別なテクニックはいらず、誰でも行いやすい」スポーツがあればよいと感じていた。また、若者が比較的に触れがちなスポーツが中高年層の人々にとってあまりプレーされていないという点にも疑問を抱いていた。大学入学後、フラッグフットボールが2011年度の学習指導要領に掲載されることを知り、フラッグフットボールの持つ価値に興味を抱いた。本研究では、他スポーツと比較、スポーツの実施状況の考察、日本フラッグフットボール協会事務局長へのインタビューを通して、フラッグフットボールの持つ「教育的価値」と「地域活性」の価値を探ることで、上記であげた課題を解決できるかどうかを考察する。

## 1章 スポーツの定義

現在広く知れ渡っているスポーツを「個人競技」「個人球技」「集団競技」「集団球技」と定義する。さらに、集団球技を取り上げ、攻撃と防御が一体となっているものを「攻守一体型」、明確に分かれているものを「攻守分別型」と2種類に分類する。さらに、2種類の特徴をそれぞれ考察することで、既存の集団球技の特徴として「体力・技術がない者が活躍する場がない」「内省時間がきちんととりづらい」「怪我などの心配なく誰もが行えるわけではない」などの課題点を浮き彫りにする。

## 2章 フラッグフットボールとは

まず、フラッグフットボールの歴史について触れる。それにより、フラッグフットボールが米国発祥のスポーツで、すでに欧米諸国では人気が出ている種目であり、競技特性としてはアメリカンフットボールのルールを簡略化しつつも踏襲しているスポーツであることを明らかにする。さらには、日本には1990年代中旬に本格的に導入された新スポーツであることも判明する。次に、フラッグフットボールの競技概要を、その後にルール概要について言及することで、フラッグフットボールの全体像をまとめる。最後には個人に焦点をあてて、フラッグフットボールにおいて筆者が最低限覚えておくべきと考えるプレーヤーの主なポジションについて言及する。

## 3章 フラッグフットボールの特徴

まず、日本フラッグフットボール協会の設立経緯を言及する。それに伴い、協会が設立される際に作られた「活動理念」に焦点を当てることで、協会がフラッグフットボールを通じて達成したい世界観を「青少年の教育」「地域活性」という2つの観点で考察する。具体的には、「青少年の教育」に関しては、フラッグフットボールの競技特性と、「公式競技規定」を他スポーツと比較する2点で考察する。「地域活性」に関しては、現状のスポーツ実施状況と意識調査を見ることが、産業としての潜在市場価値を推測する2点で考察する。

#### 4 章 フラッグフットボールの現状

フラッグフットボールの現状について「現在の競技人口」、「大会の概数と種類」、「指導者講習会の実施状況」の項目で考察する。

#### 5 章 まとめ

「青少年の教育」、「地域活性」とともに既存のスポーツに比べ、フラッグフットボールは社会に貢献できるスポーツだといえる。今後は、今回の研究での不足点考慮した上で、フラッグフットボールへの関わり方を筆者自身考えるとともに、今後のフラッグフットボールが日本社会にどのように貢献していくかに期待したい。